



# 育む会だより 2号

発行:うるま市子どもを育む会 (事務局)まどか保育園:Tel098(974)1990



平成14年10月、児童福祉法の改正により認可外保育園の届出制度が始まりました。しかし「子どもに対する職員の数」「必要な保育室の面積」等、基準をクリアしようとすると保育料を大幅にアップしなければ経営が成り立ちません。しかも当時は認可外保育園へ助成が一切ありませんでした。

「基準は守りなさい。でも助成金は出しません」ということになります。沖縄は全国一の出生率と、全国の7割の所得、加えて復帰後の振興策の遅れから、数多くの認可外保育園がありました。このままでは認可外保育園が存続の危機です。県内の認可外保育園は、認可外保育園ネットワークを作り、認可外保育園への助成を訴える活動を始めました。それから10年経ち、少しですが助成も増えてきましたが、それでも認可保育園との格差は大きく、育む会は「給食費の増額」「基準達成・維持するための運営費の助成」等を訴え、今後も積極的に活動を続けていきます。世論を変えるのは保護者や保育関係者の皆様です。認可外保育園へのご理解とご協力をよろしく願致します。



## ～沖縄振興一括交付金について～

2012年、沖縄振興一括交付金3000億のうち、特別待機児童解消に向けて10億695万円の予算が投入されます。認可外保育園への支援(助成、認可化促進等)での活用が期待されます。

## 会長就任の報告

昨年の3月に沖縄県認可外保育園ネットワークの宮城会長(サウンド幼児園)が引退することになり、その後任として、うるま市子どもを育む会、会長の中曾根正和(東山のびのび保育園)が新会長として就任することになりました。

## 24年度の主な活動予定

クリーングリーン隊(清掃活動)、育む会合同大運動会、交通安全指導、子供文化祭参加 ふれあい消防広場 保育士研修、緑化推進事業など

## うるま市子どもを育む会とは?

「うるま市子どもを育む会」とは、認可外保育施設の社会的地位向上、保育の質の向上並びに会員相互の親睦を目的とする、うるま市認可外保育園のネットワークです。現在18の園が加盟しており、園長同士や保育園同士の交流や情報交換のほか、行政に認可外保育園の現状を訴え、認可外保育園よりの認可促進、認可外保育園への助成を訴えています。

## 活動報告

### 議員との勉強会

育む会の主催による議員との勉強会が2月7日、地域交流センターあげなげあで行われました。うるま市の議員全員に案内を出したところ、市議8人、県議2人に出席していただきました。勉強会では保育園関係者、保護者代表者より、認可外保育園の現状を訴えました。



保護者からは「みんなと同じように税金を支払っているのに認可外保育園にいる子ども達はその恩恵を受けられないなんておかしい」「認可保育園と認可外保育園の補助金の格差があまりにも大きすぎる」という訴えが、保育園関係者からは「認可外保育園は経営が安定しない」「職員の待遇を良くしてあげたい」等の意見が出ました。

議員の方からも「もっと早く相談してほしかった」と前向きな答えをもらえました。今年、沖縄に3000億円近い一括交付金があります。その交付金を認可外保育園の子ども達にも充ててもらえるよう期待を高めています。今後、保育園関係者、保護者、市民、議員の力を合わせて、市へ訴えていければいいと思います。

その後、3月8日に認可外ネットワークの代表として中曾根会長含む園長5人と、県議の山内末子議員とで文教常任委員長の赤嶺議員と会談し、県内の認可外保育園の現状を訴えました。会談後、高嶺県議長に以下の陳情書を提出したところ、3月28日の県議会において採択されました。

### 陳情書

1. 潜在的待機児童を抱える認可外施設からの認可化移行促進
2. 給食費として一人当たり250円(月24日)の助成
3. 教材費一人当たり年間1万円の助成
4. 基準達成施設に運営費の補助
5. 指導基準を満たすための修繕等への補助



## うるま市子どもを育む会 加盟園一覧 (平成24年度5月1日)

具志川地区	具志川乳児園	具志川地区	ひだまり保育園	石川地区	やまびこ幼児園
具志川地区	くるみ保育園	具志川地区	まどか保育園	石川地区	石川三育保育園
具志川地区	自由の森保育園	具志川地区	星の子保育園	石川地区	東山のびのび保育園
具志川地区	杉の木保育園	具志川地区	そよかぜ保育園	与那城地区	さわやか保育園
具志川地区	のびっこ保育園	具志川地区	この花ナーサリ	与那城地区	大地学童クラブ
具志川地区	育む家保育園	石川地区	育成保育園童の家	勝連地区	エンジェル保育園